

日曜日礼拝順序

憩いの場

2019年9月29日 午前11時 南部チャペル

“寛容について”

前奏	鈴木義兄	
頌栄	539	
開会の祈り	Scroggins 由紀牧師	
主の祈り	一同	
讚美	賛美歌9番	“ちからの主をほめたたえまつれ”
祈りの時	Scroggins 由紀牧師	
聖書拝読	一同	
コリント人への第一の手紙12章4-112節		
讚美	賛美歌461番	“主われを愛す、主は強ければ”
説教	“ご聖霊の賜物”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌502番	“いともかしこし イエスの恵み”
献金	坂田淑姉	
報告		
頌栄	541	
祝祷	Scroggins 由紀牧師	
後奏	鈴木義兄	

(礼拝終光の会 午前9時30分)

“しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。” (ガラテヤ人への手紙5章22-23節)

先週は、ガラテヤ人への手紙5章から、自制心について書きましたが、今回は同じ聖書箇所から、寛容について考えてみましょう。寛容という言葉の原語(ギリシャ語)の意味は、広い心で受け入れる、というニュアンスだそうです。英語のほうは Patience となっていますが、実際、日本語訳のほうが原語に忠実だったようです。

何事にも細かくて、完全にするのが好きな日本人文化の中で、アバウト、いいかげん、ということばが、忌み嫌われているのと同じに、寛容、ということばにも違和感を感じる人が多いかもしれません。しかし、大きな目で物事を見る、寛容性を持つことには、様々な得点があります。そのひとつは、自分の世界が広がるという得点です。年代の違う人たちとの対話にも寛容性は必要ですし、新しいことを覚えるにも寛容性は必要です。つまり、寛容性とは精神の若さ、しなやかさではないでしょうか。

何よりも、神の寛容、広い心で受け入れてくださった、という恵みにより、私たちは罪から清められて、永遠の命を与えられています。世の中は偏見と恐れ、怒りに満ちていますが、ご聖霊のお力により、私たちが、御霊の実である寛容に導かれますようにお祈りしています。(Scroggins 由紀)

## 記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。また新しく発足されました光の会に神の祝福がありますようにお祈りください。

## お知らせ

—毎週日曜日、午前9時30分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

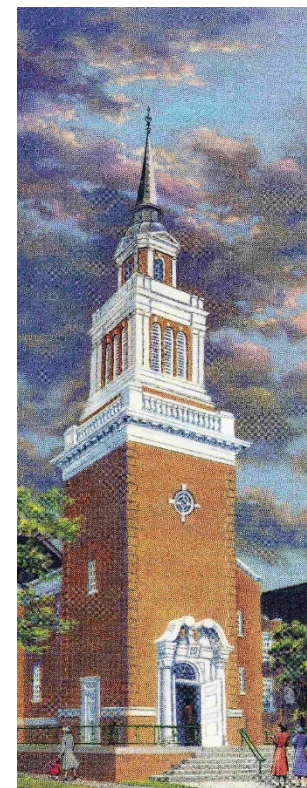
—本日は、午後12時よりカレン語部の10周年記念礼拝が行われ、日本語部も讃美に招かれています。その後、午後2時30分よりランチがあり全教会が招かれています。どうぞご参加ください。

今週の讃美：主は素晴らしい

<https://www.youtube.com/watch?v=4oa0ESK4FkM>

---

発行：2019年9月25日ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話：773-728-4200



# 週報

第3739号  
2019年9月29日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)